

令和 8 年度 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター

出土木製品・鉄製品の保存処理技術特別プログラム —トレハロース法の理論から実践まで—

1. プログラムの概要

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターでは、文化財を次世代へ継承する専門人材の育成を目的として、「出土木製品・鉄製品の保存処理技術特別プログラム」を開講します。

本プログラムでは、出土文化財の保存処理に必要な知識と技術を、5 日間の集中講座を通じて実践的に習得します。講義では従来の保存処理方法から最新のトレハロース含浸法までを学び、実習では測定・記録・含浸処理・濃度管理・固化乾燥工程までの一連の作業を体験します。

保存科学の経験・知識は問いません。文化財保存に関心を持ち、将来、専門技術者を目指す学生・大学院生および社会人が対象です。

2. 実施内容（学ぶ内容）

- ・対象資料の状態観察および保存処理計画の立案
- ・寸法・法量・重量・外観写真などの記録、カルテの作成
- ・X 線撮影および X 線 CT 撮影の活用
- ・トレハロースを用いた含浸処理（含浸液濃度管理、固化・乾燥工程、表面処理など）
- ・保存処理後の評価、観察
- ・レポート作成および成果報告

3. 講師紹介

伊藤 幸司（いとう・こうじ） | 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 教授

1988 年から財団法人大阪市文化財協会に所属し、30 年以上にわたって出土文化財の保存処理実務に従事した。公益財団法人大阪市博物館協会、一般財団法人大阪市文化財協会において保存科学室長を歴任し、現場と研究の両面を牽引。2022 年より現職。

1995 年頃から糖類を使用する保存処理方法の研究に着手、2008 年からはトレハロースを用いる含浸処理法の技術研究、実用化を図ってきた。その適用範囲は出土木製品・漆器・鉄製品、海底遺跡出土遺物など多様な文化財に及ぶ。国際博物館会議保存修復委員会（ICOM-CC）の Wet Organic Archaeological Materials（WOAM）において継続して研究発表するなど、国内外で高い評価を得ている。その取り組みは NHK E テレ「サイエンス ZERO」や NHK World「CATCH JAPAN」でも紹介された。

本プログラムでは、伊藤教授がこれまでの実務経験と研究成果を基に、トレハロース含浸法の理論から実践的な処理工程まで、現場の第一線の技術を直接指導します。

4. 実施期間

令和 8 年 9 月 7 日（月）～ 9 月 11 日（金） 5 日間集中講座

※詳細な日程は受講決定者へ別途通知します。

5. 会場

東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター（山形県山形市上桜田 3-4-5）

6. 募集人数

10 名以内

※学内学生、学外学生、社会人の区分による定員は設けません。

※応募状況および選考結果に応じて受講者を決定します。

7. 応募資格

次のいずれかに該当し、文化財保存修復に強い関心を持ち、将来、専門技術者として活動する意欲を有する方。

- (1) 東北芸術工科大学の学部生・大学院生
- (2) 国内外の大学・大学院等に在籍する学生・大学院生
- (3) 社会人
 - ・地方公共団体の文化財担当職員
 - ・博物館、美術館、資料館等の職員
 - ・埋蔵文化財行政および文化財保護業務に従事する方
 - ・その他、文化財保存修復に関わる研究者、実務者

【受講対象外となる方】

- ・営利目的で本プログラムの受講を希望する方
- ・埋蔵文化財調査会社等に所属する方
- ・一般の方

8. 受講料

区分	受講料
東北芸術工科大学 学部生・大学院生	無料
学外学生・大学院生	50,000 円
社会人（地方公共団体職員、博物館等職員 等）	100,000 円

※受講料には実習材料費および保険料を含みます。

※交通費、宿泊費、食費等は受講者負担となります。

9. 応募方法

所定の受講願書に必要事項を記入のうえ、メールにて提出してください。

※本学の学部生・大学院生は、指導教員およびコース長の承認が必要です。

※学外学生・大学院生は、指導教員の推薦が必要です。

10. 募集日程

- ・ 応募締切 : 7 月 31 日 (金)
- ・ 選考結果通知 : 8 月 7 日 (金)
- ・ 受講料納入期限 : 8 月 28 日 (金)
- ・ プログラム実施 : 9 月 7 日 (月) ~ 9 月 11 日 (金)
- ・ レポート提出期限 : 10 月 9 日 (金)
- ・ 修了証発行 : 10 月下旬 (予定)

11. 選考方法

提出書類による選考を行います。

選考にあたっては、これまでの経験や専門知識の有無よりも、以下の点を重視します。

- ・ 文化財保存修復に対する関心
- ・ 将来、専門技術者として活動したいという意欲
- ・ 本プログラムで学んだ内容を将来的に活用する意思
- ・ 受講後の活動計画や展望

※本プログラムは選抜型の教育プログラムのため、応募者数が募集人数を下回る場合であっても、選考の結果によっては受講をお断りする場合があります。

※選考結果に関する個別のお問い合わせにはお答えできません。

12. 受講決定後の手続き

受講決定者には、受講料納入方法、事前学習課題、参考図書、持参物等について別途ご案内します。受講にあたっては、指定図書等の準備をお願いする場合があります。

13. 修了要件、修了証

次の要件を満たした受講者に対し、修了証を交付します。

- ・ 全日程 (5 日間) に参加すること
- ・ 成果報告会で発表すること
- ・ 所定のレポートを提出すること (様式自由、800 字程度)

※本プログラムは正課外の教育プログラムです。修了証は、所定の要件を満たしたことを証明するものであり、大学の単位認定や資格取得を保証するものではありません。

14. 受講上の注意

- ・学外学生および社会人受講者については、本学がイベント保険に加入します。
- ・受講期間中は本学教職員の指示に従い、施設・設備を適切に利用してください。
- ・実習において作成したテストピースは持ち帰ることができます。
- ・受講中に知り得た研究情報等について守秘義務を求める場合があります。
- ・故意または重大な過失により本学の施設・設備等に損害を与えた場合は、損害賠償を求めることがあります。

15. 受講願書の送付先・お問い合わせ先

東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター事務局（地域連携推進課）

〒990-9530 山形県山形市上桜田 3-4-5

TEL：023-627-2218 E-mail：r.center@aga.tuad.ac.jp